

歳

時

記



梅

梅は「春告草」の異称の通り、椿とともに春に先かけて清楚で気品のある花を咲かせます。中国では牡丹に替って国花となり、花木第一位の花とされています。帰化当初は数種の白梅だけのものが、日本人の繊細な感性に基づく品種改良と自然交雑によって現在では数百種に上ると言われています。

原産地中国から、初期の遣唐使が持ち帰ったのが最初と言われ、万葉の時代には嚴寒に花を咲かせ芳香を放つ趣が貴族たちの風雅の心をつかい、多くの歌にも詠まれて賞賛されました。

また、寒さに耐え緑を保つ「松」や「竹」とともに「歳寒の三友」と呼び極めてめでたい慶事用植物として尊重されました。

梅の名所はいくつかありますが、水戸の偕楽園は全国的にも有名で、毎年たくさんの観梅客が訪れます。

「梅の花にほひをうつす袖の上に
軒もる月の影ぞあらそふ」

藤 原 定 家

さ

い

じ

き